

電子レポートの作成実験

須恵 耕二, 小寫 一生, 谷口 勝紀, 大村 悦彰,
吉岡 昌雄, 松田 樹也, 山口 倫, 寺村 浩徳
電気情報技術系

1 はじめに

本実験は情報電気電子工学科 2 年次の必修科目として行われている。本実験では、論文やレポート執筆時に必要となるソフトウェア **pLaTeX** 及び **gnuplot** を用いて文書作成を行えるようになることが目的である。本実験の支援を電気情報技術系の技術職員が行ったのでここに報告する。

2 内容

本実験は前期火曜 3・4 限あるいは木曜 1・2 限に 3 週間に渡って実施される。各曜日の受講者は 80 数名であり、それぞれ 4 名の技術職員が支援している。実験は研究棟 IV 2 階 計算機室にて実施され、LinuxPC 上のソフトウェア **pLaTeX** 及び **gnuplot** を使用して進められる。

実験は演習形式で進められ、基本操作のほかに学生は下記項目の課題に取り組む。

- ・空白、空行の扱い方
- ・左右中央寄せ、下線、箇条書きの方法
- ・数式の記述
- ・表の作成、相互参照の設定
- ・グラフ作成
- ・図形の挿入

実験における技術職員の支援内容は、挙手または口頭で質問してくる学生への指導、課題のチェックである。本実験では学生の課題実施の進捗にばらつきが多く、また学生からも質問が非常に多く出てくる為、常時学生に対応している状況である。

3 まとめ

本実験を通して学生が習得する **pLaTeX** 及び **gnuplot** の利用方法は、以後学生が学生実験のレポートや卒業論文執筆に利用する必要不可欠なスキルである。従って実験時間中に学生が躓いている点や疑問点を解決すべく、指導することを心掛けた。

今年度は、学科計算機システムのリプレースによって使用環境に変更があったため、学科計算機グループのメンバーが問題点を洗い出し、実験がスムーズに開始出来るよう事前準備とテストを行った。